

科目名称	病態治療学（呼吸器・消化器・内分泌代謝）
授業コード	BK177
英語名称	
学期	2024年度後期
単位	1.0
担当教員	古川 雄祐
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	看護師として診療を行う際に必要な臨床医学の基礎的知識を習得する。総論として、内科診断と治療の基本・代表的な症候とその病態生理について解説する。引き続き、呼吸器系・消化器系・内分泌代謝系の代表的疾患について病態生理・診断・治療の基礎を学ぶ。
科目に関連する実務経験と授業への活用	看護師を目指す上で必要な医学知識について、医師としての臨床経験を有する教員が講義する。
到達目標	本講義は看護学科のカリキュラム・ポリシー3「看護学の基盤となる人体や病態を理解する科目と保健医療福祉を統合的に理解する科目を専門基礎科目に配置する」に対応し、ディプロマ・ポリシーにあるように、豊かな教養と倫理観を身につけ、科学的な根拠に基づいて対象者の健康と生活の質を高める看護を実践するための論理的思考力と基本的な問題解決能力を修得し、高度化・複雑化する医療に対応して看護実践する専門知識・技術を有することを到達目標とする。
計画・内容	第1回 病態治療学総論1：診察方法 第2回 病態治療学総論2：検査方法 第3回 病態治療学総論3：治療方法 第4回 呼吸器疾患1：呼吸器の構造と機能 第5回 呼吸器疾患2：呼吸器系の症候と検査法 第6回 呼吸器疾患3：主な呼吸器疾患と診療1 第7回 呼吸器疾患4：主な呼吸器疾患と診療2 第8回 消化器疾患1：消化器の構造と機能 第9回 消化器疾患2：消化器系の症候と検査法 第10回 消化器疾患3：主な消化器疾患と診療1 第11回 消化器疾患4：主な消化器疾患と診療2 第12回 内分泌・代謝疾患1：内分泌系の構造と機能 第13回 内分泌・代謝疾患2：内分泌・代謝疾患の症候と検査法 第14回 内分泌・代謝疾患3：主な内分泌・代謝疾患と診療1 第15回 内分泌・代謝疾患4：主な内分泌・代謝疾患と診療2
授業の進め方	講義資料を事前あるいは当日に配布し、パワーポイントを使用して解説を加え、視覚資料を適宜活用する。
能動的な学びの実施	毎回、確認テストとその解説を行い、授業回ごとに理解度の振り返りを行う。学生への質問も行うので、積極的な授業態度を期待したい。
授業時間外の学修	予習事項：関連する基礎医学とくに解剖学・生理学・病理学を教科書で予習しておく。指定教科書の該当範囲を読んでおくことが望ましい。 復習事項：講義プリントおよび自分でとった講義ノートを必ず再読する。 合計で60時間以上を目標とする。

教科書・参考書	<p>浅野嘉延・吉山直樹（編）「看護のための臨床病態学」改訂5版（南山堂・2023年） 浅野嘉延（編）「なるほどなっとく！内科学」改訂3版（南山堂・2023年）</p> <p>講義資料を配布するので、上記の購入は必須ではない。講義資料の確認やより系統的に勉強を行いたい場合に参照のこと。</p>
成績評価方法と基準	<p>定期試験（80%）および講義中の質疑応答の内容（20%）により総合的に評価する。</p>
課題等に対するフィードバック	<p>定期試験の答案と解答はWebClassにUploadし、講義内で解説を行う。リアクション・ペーパーや小テストについては、次回授業開始時にフィードバックを行う。学生からのコメント・ペーパーの内容をもとに、授業への反映や資料配布等を行う。</p>
オフィスアワー	<p>CampusSquare を参照</p>
留意事項	<p>本科目の習得には基礎医学科目（解剖学・生理学・病理学）の知識が不可欠であるので、あらかじめ復習しておくこと。講義でも関連分野については随時復習する。</p>
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>Zoomによるオンライン授業を行う。講義資料はあらかじめWebClassに登録しておく。課題を提出することで出席とみなす。質問はメールなどで随時受け付ける。</p> <p>試験に替わる課題の提出（100点満点）で評価する。</p>